

Toyama Cedar Furniture project

平成16年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

地場産杉を使用したインテリア・家具の提案

2005 --- 2007

富山大学高岡短期大学部 × マイスター事業協同組合による産学連携授業

取り組みについて

富山大学高岡短期大学部産業造形専攻では専攻科1年生を対象に、地元で育てた木材での家づくりを目指す「マイスター事業協同組合」のご協力を頂き、「地場産杉(間伐材)を使用したインテリア・家具の提案」を目的とした産学連携授業を2005年度、2006年度、2007年度と3年間にわたり行って参りました。

本取り組みと学生1人ひとりの提案が地場産杉に関して、ひいては森づくり、地球環境についても皆様とともに考える機会となれば幸いです。

授業担当：

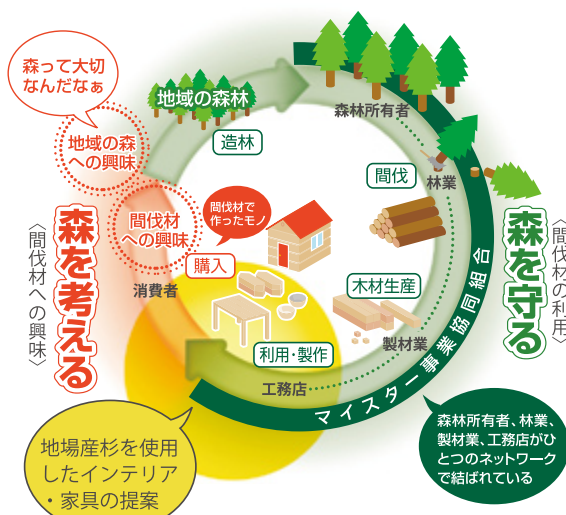
丸谷 芳正 (富山大学・教授)
渡辺 雅志 (富山大学・講師)
正保 久男 (マイスター事業協同組合)

協力：

中田 市郎 (林業家)
岡峰 正憲 (久目林業倶楽部)
武田 和正 (富山県林業技術センター)
川邊 敏正 (富山県高岡農地林務事務所)

マイスター事業協同組合

〒935-0113 富山県氷見市惣領 296
TEL 0766-91-7235(正保)
E-mail hisa3824@p1.cnh.ne.jp



マイスターの取り組み

地域の木で地域の家をつくることにより、森林資源の保全や、林業・木材加工業などの活性化を目指す異業種協同組合です。

林業家から製材業、工務店、木工業まで、地場産材の利用に関わるさまざまな事業者をネットワーク化して地域循環型の社会をつくり、氷見はもとより富山全体の山や森の元気復活に向けて努力しています。



授業の取り組み

イラストのように「森を守る」「森を考える」このふたつがうまくサイクルとして流れるためには、地場産杉間伐材を利用・製作する「ものづくりの立場」と、購入・使用する「ユーザーの立場」の双方の考えを理解し、新しい提案を見出すことが必要と考え、本授業は行われました。

このプロジェクトは、平成16年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された「「炉端談義」方式による地場産業活性化授業ー地域と一体となった授業計画・実施・評価委員会によるものづくり教育ー」の一環として実施されました。

間伐とは ...

人工林を健全に保つには、植林した木の8割近くの間伐が必要です。

間伐を怠ると、木の根が十分に張らず山の保水能力が無くなり、土砂災害や雪崩の原因にもなるため、一部の木々を切ります。その木々を「間伐材」と言います。

手間や費用がかかることから、今までには間伐材の商品価値が認められませんが、近年では地球の環境保全を考えた有効活用がさまざまな分野で注目されています。



3



4



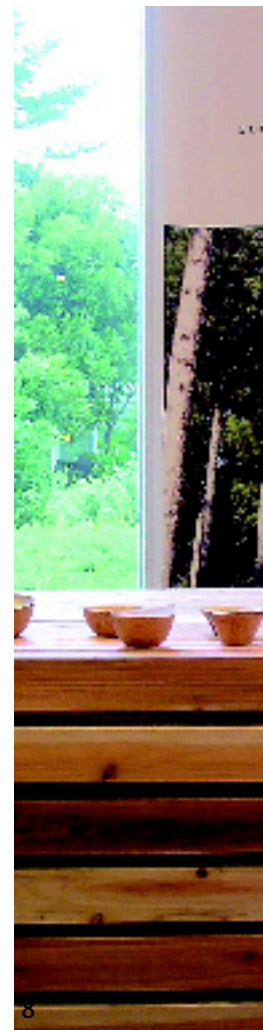
5



6



7



8

授業の流れ

1. 「地場産杉の家」五感で学ぶ、杉の香りの立ちこめる空間での講義。
2. 「山に入る」製材された材料ではない、立木のままの姿をみる。
3. 「枝打ち」一本一本ていねいに落とす枝打ちの意味と気持ちを知る。
4. 「中間プレゼンテーション」より良い作品を求める声を聞く。
5. 「選材」板材、角材、木片、かんなくずなど求める視線の先は様々。
6. 「創る」頭を動かし、手で考える。そんな日々が続く。
7. 「最終プレゼンテーション」作品(=自分)を精一杯伝える。
8. 「展覧会」見て、触って、地場産杉の可能性を感じてほしい。

授業の詳細な内容がホームページでご覧になれます。
<http://gp.takaoka-nc.ac.jp/himisugi/>



1



2



3

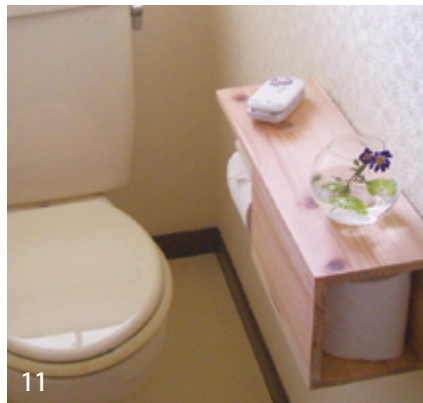


7



8

作品



11



12



15



16



17



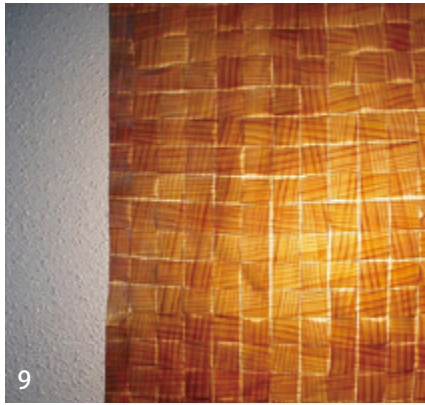
4



5



6



9



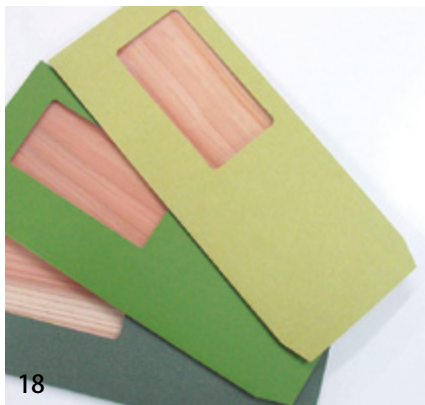
10



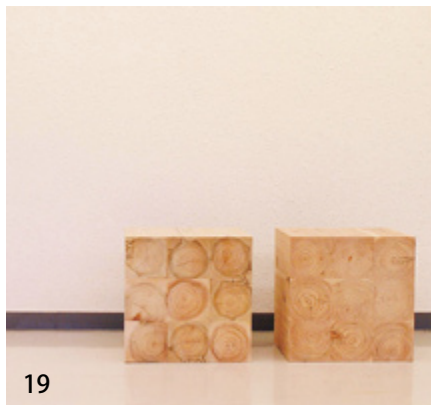
13



14



18



19



20

作品 1. 「SUGIKI- 杉器-」 上田 祐章子 / 杉と錫を重ねた器 (2005) 2. 「おもちゃキット -Linkit-」 大宅 史恵 / 杉の香りがするおもちゃ (2005) 3. 「杉座 布団」 北川 一登 / しなやかな杉の座り心地 (2005) 4. 「Artless Desk」 櫻井 雅大 / 杉のデスク (2005) 5. 「バス停」 笹井 しおん / 氷見らしいバス停 (2005) 6. 「産学連芸」 羽田 純 / 杉のアートイベント (2005) 7. 「杉プランター」 樋上 薫 / 植物と空間の柔らかい調和 (2005) 8. 「UNION」 廣瀬 ゆかり / 山と海を結ぶテトラポッド (2005) 9. 「杉のあかり」 大野 希恵 / 杉を編んだあかり (2006) 10. 「ティッシュボックス」 濱松 寛 / 杉の角材からティッシュが出る驚き (2006) 11. 「トイレにある杉のかたち」 藤原 怜 / トイレを癒しの空間に変える (2006) 12. 「杉のカトラリー」 森田 樹里 / 杉のやわらかな口当たり (2006) 13. 「コートハンガー」 太田 愛 / 樹木のかたちのハンガー (2007) 14. 「杉色の器」 奥村 郁枝 / 杉色の重なり (2007) 15. 「杉ボタン」 神田 裕美 / 杉ざわりのいいボタン (2007) 16. 「握力をつける道具」 砂子田 祐佳 / ぎゅっと握る (2007) 17. 「杉のじゅうたん」 竹内 希 / 自分だけの、杉だけの場所 (2007) 18. 「杉封筒」 奈部 遙佳 / 森からの贈り物 (2007) 19. 「公共の施設に置くベンチ」 細川 俊輔 / 積まれた薪のように積まれたベンチ (2007) 20. 「杉筒に入った色鉛筆」 吉田 由紀 / 氷見の間伐材で氷見色の色鉛筆はいかが (2007)